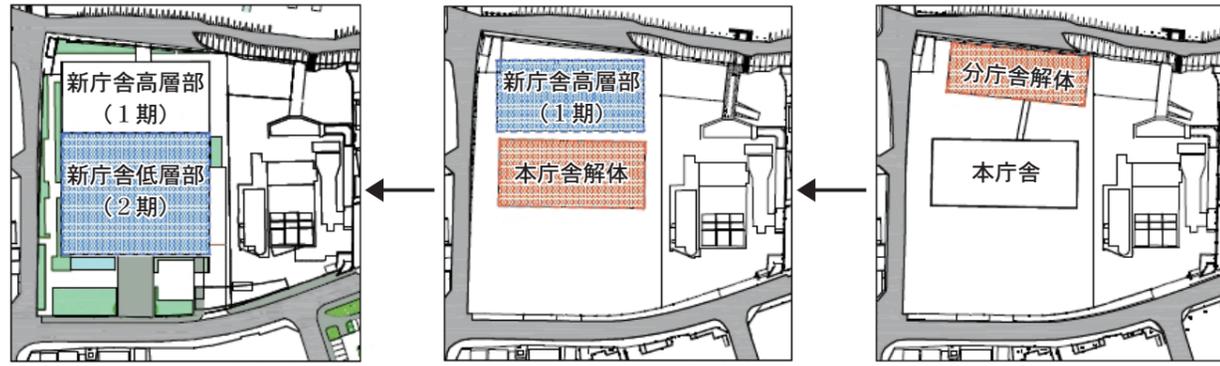


# 市民のための新庁舎建設に向けて

【概要】敷地面積 8,751㎡ 延床面積 20,691㎡  
 容積対象面積 17,740㎡  
 階数 地上7階、地下1階 建物高さ 29.9m  
 構造 地上鉄骨造、地下鉄筋コンクリート造  
 駐車台数 地下駐車場89台、地上駐車場17台  
 建築工事費 約62億円



南西方向からの外観



2期工事完成・外構整備

1期工事完成・本庁舎解体

分庁舎解体

## 配置計画

新庁舎は現在地で建て替えますが、工期を高層部と低層部の2期にわたる2段階の建て替え計画とし、工事期間中の仮庁舎への移転をできるだけ少なくします。庁舎南側には広場を設け、市民の憩いの場とするともに、お祭りなどのイベントや災害時の拠点として対応できるようにします。広場や駐車場の前には緑地を設け、美しい街並づくりに努めます。

## 防災計画

▼東南海・南海地震に備え、耐震性能を通常の建物基準の1.5倍の強度とします。免震構造を採用し、建物の揺れを小さく抑えることにより、設備機器・配管への影響や家具などの転倒を防ぎ、震災直後でも防災拠点としての機能を維持します。

▼地盤の液化化から建物を守るため、地下の基盤岩層を支持層とした杭工法を採用します。

▼桑野川の決壊や集中豪雨による水害から守るため、1階床レベルを周囲の地盤よりも約1メートル高く設定したうえで、防潮パネルで浸水を防ぎます。

▼洪水対策のため、7階に非常用自家発電設備を設置し停電に備えます。

▼被災者への支援物資や援助物資等を保管しておく備蓄倉庫を設置します。

## 自然の恵みを生かした環境配慮型庁舎をつくりま

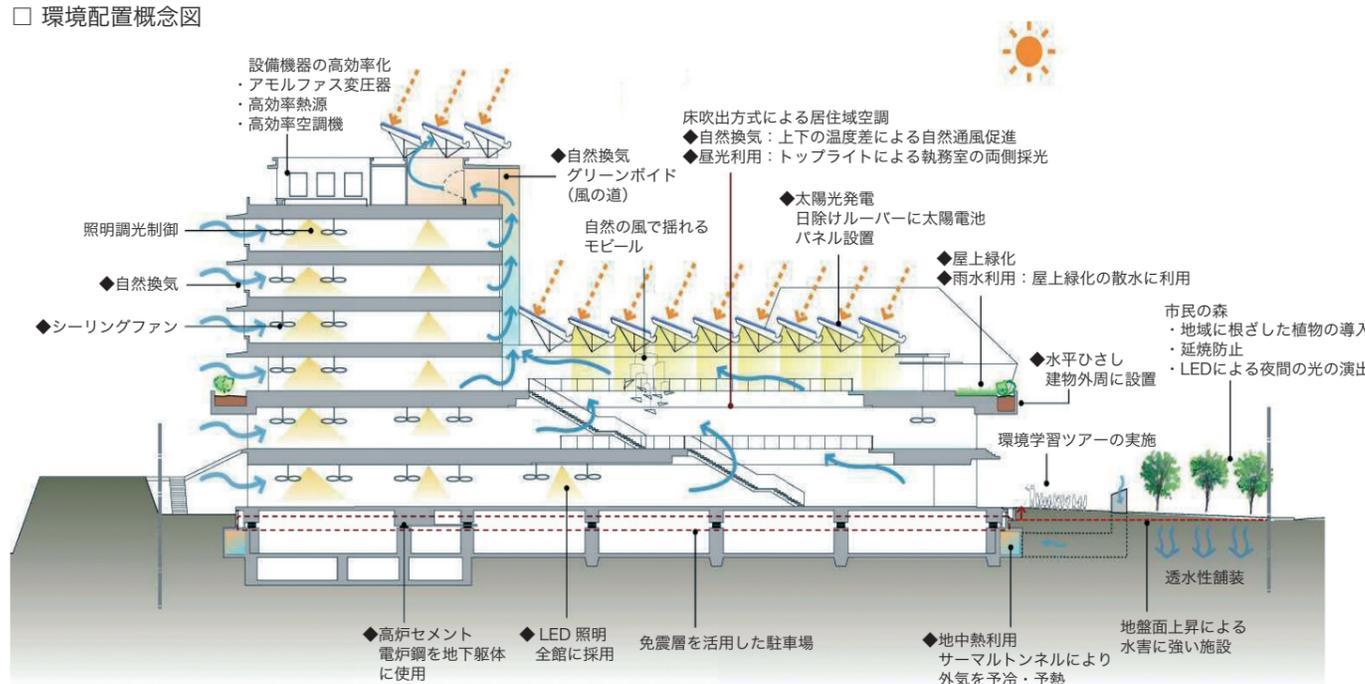
自然換気や自然採光、太陽光発電による自然エネルギーの活用を図ります。ひさしや屋上緑化により熱負荷を低減するとともに、全館LED照明とし省エネルギー、省CO<sub>2</sub>に取り組めます。

## 設計の基本方針

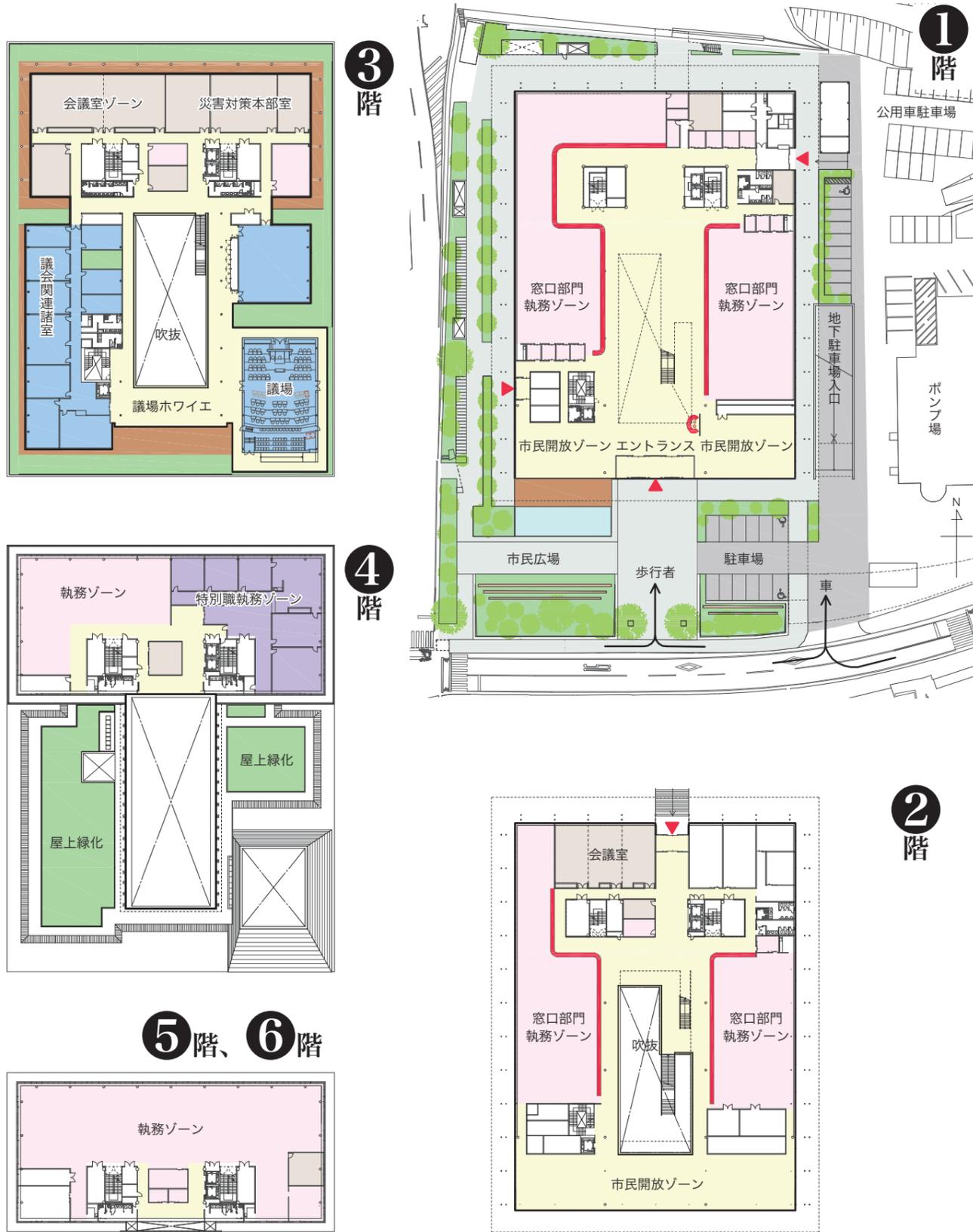
- **充実した市民サービスを実現するワンストップサービス庁舎**  
 低層部を広く見通しの良いワンフロアとし、市民の利用の多い窓口を集約して利用しやすくします。
- **すべての人にやさしい庁舎**  
 ユニバーサルデザインを導入し、年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、だれもが利用しやすいように利用者本位、人間本位の庁舎とします。
- **市民開放の在り方をかたちにした庁舎**  
 多目的スペースや市民開放ゾーンを庁舎正面側につくり、閉庁時の部分開放や夏祭りやイベント時には南側の市民広場と一体的に利用できるようにします。
- **地震や水害に対して安全・安心な庁舎**  
 近い将来に発生が予想される東南海・南海地震のほか、さまざまな災害に対処する防災拠点とするために、免震構造の採用や浸水対策、非常用自家発電設備の設置などを行います。
- **地球環境に対してやさしい庁舎**  
 自然エネルギーを積極的に生かすとともに、LEEDに代表される先端技術を融合した環境配慮型庁舎をつくりま
- **フレキシビリティ（柔軟性）が高く、維持管理が容易な庁舎**  
 今後の利用状況の変化に対して柔軟に対応できるようにする「日常」的な維持管理もしやすくします。

新庁舎建設に向けて進めてきた基本設計が完了しましたので、その概要をお知らせします。今後は、詳細な実施設計を今年度中にまとめ、平成24年度工事着手、平成27年度中の完成を予定しています。

これまでの経緯 (年度別)			
H22	H21	H20	H17
庁舎建設基本計画策定	庁舎建設基本構想策定	市議会に庁舎建設特別委員会設置	庁舎建設基金設置
庁舎建設基本計画策定	市長所信において現地での建設を表明	市議会に庁舎建設特別委員会設置	庁舎建設基金設置
基本設計完了			



□ 環境配置概念図



市民に開かれた  
わかりやすい  
庁舎をつくります



1階ロビーは3層吹き抜けとし、自然光を採り入れた心地よい空間とします。

- 1階、2階…市民が利用する機会が多い窓口部門を配置します。広くて見通しのよいフロアに加え、中央に吹き抜けの空間を設け、建物全体の位置関係をわかりやすくし、他の階への案内性を高めます。また、自然光の採り入れや自然換気によって省エネルギー・省CO<sub>2</sub>につなげます。
- 3階……議場や議会関係諸室と災害対策本部機能を整備します。また、効率性と利便性を高めるため、会議室を集約して配置します。
- 4階……市長や副市長など特別職の執務室などを配置します。
- 5階、6階…窓口部門以外の部局の執務室を配置します。
- 7階……洪水対策のため、非常用自家発電設備及び主要な機械室を設置し、ライフラインが途絶えた場合にも防災拠点としての機能を維持します。

新庁舎の基本設計について  
パブリックコメント(意見募集)  
を実施します

募集期間 6月16日(木)～30日(木)  
公表資料 阿南市新庁舎建設基本設計概要書  
公表場所 市ホームページ、各支所、各住民センター及び庁舎建設課(市役所本庁2階)で閲覧することができます。  
意見を提出できる人 市内に在住、在勤または在学の方  
提出方法 様式は自由です。名前および住所を記入のうえ、次のいずれかの方法により提出してください。また、意見提出用紙を公表場所に用意していますので、ご利用ください。  
■直接提出または郵送  
〒774-8501 富岡町トノ町12番地3  
阿南市庁舎建設課まで  
■電子メール アドレス  
chousha@city.anan.tokushima.jp  
※電話など口頭による受付はいたしません。  
意見の公表 提出された意見は、名前、住所等の個人情報を除き、その内容を整理して原則公表します。なお、意見等についての個別回答は致しませんので、ご了承ください。  
問い合わせは 庁舎建設課(☎22-8285)

基本設計に基づいた実施設計を平成23年度中に取りまとめることとしており、各階の施設等については、実施設計で詳細に検討することとなります。